新たな「道民の森」活用方針（素案）の概要

森林のことを“遊び”ながら“学ぶ”場所として開園した「道民の森」をどんな場所にしていくかの道しるべとなる「道民の森」活用方針（素案）について、みんなの意見を募集します。

「こんなイベントをしてほしい！」「こんな場所だったら行きたい！」など思うことがあったら、ぜひ教えてください。

募集期間　令和７年12月５日(金)～令和８年１月５日(月)

意見は、下記ＱＲコードかＵＲＬからお送りください。

https://www.harp.lg.jp/SksJuminWeb/EntryForm?id=kZ3S9aVY

保護者の皆様へ

今回の募集は「道民の森」活用方針の策定に当たって、子どもたちの意見を聞くため、実施しております。是非、お子様と一緒にお読みください。

なお、大人向けの意見募集（パブリックコメント）も実施しておりますので、道ホームページを是非ご覧ください。

https://www.pref.hokkaido.lg.jp/sr/sky/homepage/katuyou/mori/241055.html

アイドルキャラクター
「ふーちゃん」

1　「道民の森」ってどんなところ？

「道民の森」は、当別町と月形町に広がる約１万2,000ヘクタールの森林の中にある、森林総合利用施設です。

６つの地区があり、森林体験学習や森林づくり活動のほか、キャンプ、バーベキュー、陶芸、木工作などを楽しむことができます。

道民の森でできること

森にとまる

林間キャンプ場

※ペットと一緒に泊まれます
学習キャンプ場

オートキャンプ場

バンガロー

自然体験キャンプ場

コテージ

森であそぶ・まなぶ

陶芸体験

五右衛門風呂

森林学習センター

登山（神居尻山）

木工体験

ＢＢＱ広場

2　どうして「道民の森」活用方針をつくるの？

「道民の森」は、平成２年に開園しましたが、人口が減っていることや、施設が古くなったことに加えて、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、利用する人が大きく減っています。

一方で、近年は地球環境の問題に対する関心が高まり、多くの道民が、森林に親しんだり、森林の役割を学んだり、森林づくり（※）に参加したりしたいと考えるようになっているため、そうした活動ができる場をしっかり整えていくことが大切になっています。

このような背景を踏まえて、「道民の森」をこれからどのように活用していくか、方針をつくります。

※木を伐ったあとや木がない場所に木を植えたり、お世話が足りない森林の手入れをしたりして、役割を十分に果たせる「森林」をつくっていくこと。

3　どんなふうに「道民の森」を活用していくの？

道民一人ひとりが森林や木材にふれ親しむため、森の中で遊んだり、学んだり、木を育てたりする体験ができる、よりよい施設を目指します。

4　具体的に取り組むこと①

1　いろいろな年齢の人が森林とふれあえるようにする

（1）プログラムをもっとよくする

・　子どもからお年寄りまで、みんなが森林で楽しく遊んだり、森林についてもっと知りたくなるようなプログラムを用意します。

・　「道民の森」で森林を案内してくれるボランティア団体などと、今よりももっと協力していきます。

（2）みんなが集まる場所や森林にする

・　「道民の森」ならではの良さをみんなに知ってもらえるようにホームページやＳＮＳなどで分かりやすく伝えていきます。

・　はじめて来る人や、何度も来てくれる人が増えるように、「道民の森」のファンクラブをつくります。

2　森林のことを学んだり、森林づくりができる場所として使ってもらう

（1）学校の行事でもっと使ってもらう

・　子どもたちが森林を身近に感じ、森林の役割や生活との関わりを学べるよう工夫したプログラムを、学校に伝えていきます。

（2）会社などの活動でもっと使ってもらう

・　自然を守る活動に興味がある会社などに、木を植えたり、木を育てたりできる場であることを、伝えていきます。

3　地域の人たちや会社などと一緒にサービスを良くする

（1）食事や観光を楽しめるようにする

・　「道民の森」に来る人がもっと楽しむことができるよう、地域の人たちなどと協力して、食事や観光のサービスを良くします。

（2）新しい体験サービスをつくる

・　会社などと協力して、「道民の森」の広く豊かな森林を使った、新しい体験サービスをつくります。

4　具体的に取り組むこと②

4　みんなが安心して楽しめるような仕組みをつくる

（1）相談窓口をもっと便利にする

・　みんなのやりたいことや聞きたいことなどに、いつでもすぐに答えられるように、相談窓口をもっと便利にします。

（2）建物や設備などをきちんと管理する

・　みんなが安全に楽しく過ごせるように、通信環境をよくするほか、ヒグマなどの危ない森の生き物の情報をお知らせします。

・　建物を長く安全に使えるように、計画的に直したり点検したりします。

（3）予約の方法を見直す

・　みんなが使いやすくなるよう、予約開始時期などを見直します。